

報道関係者各位

プレスリリース

平成 26 年 12 月 11 日
株式会社インフォコーパス

インフォコーパス、ルネサスイーストンのIoTデモ開発を支援
～ET2014のセンサークラウドソリューションにSensorCorpusを提供～

ビッグデータ基盤事業とIoT(*1)事業を手がける株式会社インフォコーパス（代表取締役社長 鈴木潤一：東京都渋谷区、以下インフォコーパス）は、半導体等の部品・機器商社である株式会社ルネサスイーストン（東証一部上場、証券コード：9995、以下ルネサスイーストン）が開発するセンサークラウドソリューションのデモ開発を支援いたしました。

現在、ルネサスイーストンは多種多様なセンサーを使いながら、IoT事業の拡大を図っています。同事業は、モノに搭載されたセンサーからデータを取得・蓄積し、またモノへのフィードバックを行うことにより、人々の感覚・行動・体調管理などをサポートしていくというものです。

インフォコーパスは、簡単・安価・セキュアなセンサー用クラウド基盤であるSensorCorpus（センサーコーパス）を開発、提供しています。利用者はSensorCorpusを用いて、センサーのデータをクラウドに送信し、蓄積し、ビジュアル表示・閲覧、ダウンロードを行えるほか、センサーとゲートウェイの管理を行うことも可能となっています。

今回、インフォコーパスはSensorCorpusを提供する等クラウド運用の側面から、ルネサスイーストンのセンサークラウドソリューションのデモ開発を支援いたしました。

デモは、去る2014年11月19日～21日にパシフィコ横浜にて開催された組込み総合技術展ET2014に、出展されておりました。デモの内容は、冷蔵庫をセンシングの対象とし、庫内の温度、扉の開閉回数、卵の個数といったデータをセンサーによって取得し、それをクラウドに蓄積して、PCやスマホ上のWebブラウザで可視化したり通知を行うというものです。この結果、きめ細かい温度管理や食材管理が可能となり、来場のお客様からも非常にわか



りやすいデモだと好評をいただきました。今回のデモによって、センサーとクラウドの組み合わせが、生活・消費・ヘルスケア等向けの有望なソリューションになりうることを実証できました。

インフォコーパスは今後も最先端のクラウド技術を用いて、センサー・ソリューション企業の開発を支援し、社会のIoT化促進に貢献してまいります。

【用語の説明】

(*1) IoT : Internet of Thingsの略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報機器だけでなく、全てのモノにセンサーと通信機能が実装され、インターネットを介して関しあるいは制御されるという概念。

【株式会社インフォコーパスについて】

インフォコーパスは、今後予想される多種多様なデータを蓄積し、また容易に利用できる先端のインフラ・アーキテクチャーを提供することで、ビッグデータ時代の新しい知の創造と算用・生活・文化の基盤を支えて参ります。

<http://infocorpus.co.jp>

【株式会社ルネサスイーストンについて】

IC・半導体素子など部品・機械を取り扱うエレクトロニクス専門商社です。東証一部に上場しております（証券コード：9995）。

<http://www.rene-easton.com>

【本件に関するお問い合わせ】

担当：田名瀬

Tel：03-6416-1365

Email：contact@infocorpus.co.jp